

“労組はこう考える”シリーズNO1

非正規雇用問題への対応

NTT労働組合北海道総支部

NTT労働組合は、NTTグループ企業の労働者で構成する労働組合で組合員数は18万人、組織率は87%となっています。近年、変革期にある情報通信分野では、音声・固定電話から移動通信やIP系へ移行する中、ネットを活用した様々なサービスや異業種間の協業連携による新たなビジネスモデルが展開されており、これらに合わせた事業運営体制の構築が求められています。例えば団塊世代の大量退職による人員不足が顕著に現れている一方、先行き不透明な状況等から稼働不足が生じており、これらに対処するため効率化施策の展開やアウトソーシング、非正規労働者の活用が進められている現状にあります。

今後も組合員・社員の高齢化と人員減耗が予想される中、スキル・ノウハウ、専門技術の継承と事業運営における非正規労働者の役割・位置づけが重要となり、人材の確保・育成、働き方に見合った処遇改善が必要となってきました。組織化・組織拡大は、労組の生命線であり組織全体の課題であると位置づけ、このための「仲間づくり」という取組を展開してきましたが、労組加入メリットに対する理解不足、組合費の割高感、多様化するニーズ等の理由により必ずしも思うようには進展してきませんでした。しかし、分会（職場）役員への仲間づくりの必要性等の理解促進活動や非正規労働者に対する加入説明会の実施などにより、非正規労働者の組織化率は現在20%程度にまで上昇しています。今後も春闘等における処遇改善と加入説明会の開催等により非正規労働者加入率50%を目指してまいります。